

「今さら、今から、今なら」

2023, 2, 27 副校長 宮澤 竜太郎

私から皆さんには、今、思っていることをお話ししたいと思います。

今週から3月に入ります。今年度も、残りがわずかになってきました。そして今のクラスで過ごすのもあと少しで終わりですね。

そこで、これを見てください。（「今〇ら」のプリントを出す）

（今という漢字は2年生以上の人なら、もう習っていると思いますが、1年生はまだ習っていないので、送り仮名が振ってあります。）全部で3枚あります。

「今〇ら」の〇にはひらがな一文字が入りますが、みなさんだったら、ここにどんなひらがなを入れるでしょうか。

もしかすると、こんな風に入れる人がいるかもしれません。（プリント「〇」に、「さ」を記入して見せる）

1枚目は「今さら」と書きました。3学期は学校に来る日も後18日です。6年生は19日です。今さらとって、「18日しかない、」と考えると、「もう、今さら」という投げやりで、あきらめかけた、何だか後ろ向きの気持ちのような気がします。

2枚目は、こんな風に考えた人がいるかもしれません。「今から」です。

（2枚目に「か」を入れて見せる。）

「3学期、まだ18日あるぞ、今から学年のまとめを頑張るぞ」と考えれば、「さあ、今から」という希望、期待、来年度につながる新しい目標も見えてくることでしょう。

さて、もう一枚ありますが、3つめはどうでしょうか。

（少し間をとり）こんな風に考えた人はいませんか？

ここに、「な」が入ります。（3枚目に「な」を入れて見せる。）

「今なら」となります。これは、決意、勇気、行動、一歩前に踏み出す意思のある言葉になります。

「今さら」、と諦めるか、「今から」、と決断するか、「今なら」、と行動するか・・・今日のみなさんの心には、どの「今」があるでしょうか。

ちなみに、「今」に「心」と書くと、「念」という字になります。念じる、は心に思うことで、

さらに「一念」と書くと、ひたすら心に深く思いこむこと、いつまでも心にとどめる思い、という意味になります。もうすぐ今年度のゴールです。今、心に思うなら、前向きな、プラスの言葉を思い浮かべましょう。

進級、卒業も間近に迫ってきました。みなさん一人一人が、「今から」「今なら」の気持ちを持つのに、一番いい時期だと思っています。今の学年の残りの時間を大事に過ごしてほしいと思います。

先生方へ

今の時期に子供に達に伝えることは何だろう、ということで、ネタ探して、「よみうり寸評」（読売新聞）の三好良子さんの言葉を見つけたので引用させていただきました。ネットで調べてみると、読売新聞の編集後記に取り上げられ、格言として、色々な学校で既に取り上げられている言葉です。

「今さら」・「今から」・「今なら」、たった一文字の違いでも、気持ちが大きく違っていることに改めて気づかされました。様々なことを悩んでいるうちに、私たちはあきらめの「今さら」が多くなっていくことがあります。できるはずがないとあきらめてしまい、「今からできる」や「今ならできる」といった意気込みが消えてしまえば、あまりにももったいない。2月末の話題として、少し旬を過ぎているかとも思いましたが、年度末の締めくくり。残り僅かを子供たちに、「今さら」とならぬよう生活をさせたいものです。

大人向きの話ではありますが、名言の本質を、子どもに分かるように伝えるにはどうしたら伝わるかを考えるのは、授業と同じだと思います。

「今さら・今から・今なら…」読売新聞 平成28年1月3日編集後記より

- ◆「さ」の一字を「か」に替える。中央労働災害防止協会発行の月刊誌『安全と健康』12月号に、その勧める寄稿が載っていた。何をすることも遅すぎることはない、「今さら」と思うのをやめて「今から」やればいいのだから……大意を記せばこんな具合になる。
- ◆年初から新しいことをはじめようと考えた方は多かろう。手付かずでも、きょうはまだ三が日である。食っちゃ寝のまま仕事始めを迎えたところで、松が明けるには少し日がある。
- ◆「今から」の頃は無数にありそうだが、「か」を「な」に替えて「今なら」にすると印象がちがう。この機を逃せば手遅れになりかねない、といった響きを帯びる。
- ◆年が改まっても、世の中そのものは変わらない。地球温暖化、テロの横行、人口減……日本の内と外とに即効薬のない問題がひしめいている。
- ◆暮れに訃報を聞いた岡本おさみさんが詞を書き、吉田拓郎さんが歌った『まにあうかもしれない』という曲は、（まにあうかもしれない）のフレーズに（今なら）と続く。（今さら）と諦めた時、手遅れになる瞬間が近づくだらう。人生にも社会にも「さ」は良くない。